

吉岡小学校新型コロナウイルス感染症予防対策について

ハンカチ、マスク（マスク保管袋）、水筒持参

各家庭で
健康チェック

- ①毎朝の検温、かぜ症状の確認→HQCシートへの記入
体調不良（発熱、咳等のかぜ症状、倦怠感がある）の場合、登校を控える「出席停止」とする
- ②マスク着用

●感染の連絡があった場合
別紙「連絡表」で把握する。

児童登校

- ・教師が登校前に、各階の教室、廊下、トイレの窓（ドア）を開ける（各学年対応）*空気の流れができるよう開放する

HQCシートの
提出

- ①登校後、手洗いをおこなう
- ②健康状態と検温の確認をする（担任）→HQCシートの確認
*検温忘れは、教室（保健室前）で検温する
- ③発熱等かぜ症状がみられる場合は、保護者に連絡し早退措置とする
*保護者の迎えを待つ場所は、保健室とする。

- ・各教科部会からの共通理解事項をもとに教育活動を行う。

授業中

- ①マスク着用（学校にいる間は常に）
*マスクをはずす時は、マスク保管用の袋に入れる（はずし方の指導）
- ②換気の徹底 可能な限り常時開放とする。対角線上の開放を心がける（エアコン使用時は、30分に1回以上数分間窓を開ける。扇風機の活用で換気効率をあげる）
- ③人の密度を下げる（会場の広さを確保、お互いの距離を1～2m程度あける）
- ④近距离での会話・発声は避ける
- ⑤熱中症対策として、こまめに水分の補給（安全に配慮して、机の横に水筒をさげておく）
- ⑥体調不良の児童は、インターホンで職員室に連絡する

休み時間

- ①トイレ、水道が密にならないように、留意する。（赤テープの待機位置を守るよう指導）
- ②手洗いの徹底。必要に応じて消毒（担任）

- ・給食部会からの注意事項をもとに対応する。

給食

- ①手洗いの徹底。アルコールによる手指消毒。
- ②前向きで静かに食べる。（可能な限り会話を控える）

清掃

- ①短時間で無言で行う（日替わりで重点場所を指定するなどの工夫をする）
- ②清掃前後の手洗いを徹底

児童下校

- ①家に帰るまでマスク着用

下校後

- ・すぐに窓を閉めずに、換気をする。
- ・学年を中心に（机、いす）ドア、スイッチ、階段の手すり、水道蛇口等の消毒を次亜塩素酸水で行う。
- ・消毒後の雑巾は、職員室前のバケツに入れる。（養護対応）
- ・窓等の戸締りを確認する。（最終確認は、日直）